在学中受験の制度に即した新カリキュラム

令和５年より法科大学院在学中の司法試験受験が可能になりました。

未修１年

基礎法学・隣接科目

法律科目・基礎

ゼロからでも無理なくスタートダッシュ!

１年次に公法系・民事法系・刑事法系の基礎となる科目を設置し、実体法と手続法の体系的法理論と専門的知識の習得を目指します。あわせて、司法制度の仕組みや法的な情報処理に関する基本的知識・技能の習得のための科目を配置し、バランスの良い導入教育を行います。

研究科長・教務委員長と学生との個別面談を定期的に行い、個々の学生が抱える学修上の問題点を具体的に把握したうえで効果的なフォローアップ体制を構築することで、法学未修者が無理なく法律科目の学修に取り組めるようにしています。

未修２年・既修１年

展開・先端科目

法律科目・応用①

実務科目①

司法試験選択科目※

基礎から応用へスムーズな橋渡し！在学中受験のための単位を取得！

少人数クラスで編成される演習科目を履修し、実体法と手続法の応用力を育成し、問題発見能力及び事案解決能力の育成を目指します。

在学中受験に必要な司法試験選択科目を学びます。

研究科長・教務委員長と学生との個別面談を継続的に行い、基礎から応用への橋渡し期間における学修がスムーズに進んでいるかどうかを常にチェックし、個々の学生の問題状況に応じたフォローアップを行います。

未修３年・既修２年

法律科目・応用②

在学中受験

実務科目②※

在学中受験を経て、理論と実務を架橋した実践的応用力の完成!

実体法と手続法に関する総合的理解力・応用力を育成することを目的として、公法系・民事法系・刑事法系のそれぞれに実体法と手続法との横断的な演習科目を設け、問題発見能力・事案解決能力の育成とともに、総合的判断能力・批判能力の育成を目指します。

実務の理論的側面を学ぶ科目や模擬裁判などの実務実習科目を通して、実体法・手続法の立体的・実践的理解を深めるとともに、法的知識を理論的・実務的に活用できる訓練をします。

（在学中受験には一定の要件があります。）

スペシャリスト

インハウスローヤー

プロフェッション

ホームローヤー

裁判官 ・ 検察官

ジェネラリスト

国家公務員

企業法務担当

岡山大学法学部法曹プログラム
（法曹コース）

【法曹コースとは】 学部（３年間）＋法科大学院（２年間）で学び、法科大学院在学中に司法試験に合格することを目指す課程です。岡山大学法学部法曹プログラム生は、一定の要件のもと、法曹コース特別入試（筆記試験免除）を受験することができます。

じっくり学修、修了後受験という選択肢

従来の制度の通り、３年間（未修者）ないし２年間（既修者）かけて学び、法科大学院を修了した後に司法試験を受験することもできます。その場合、上図※の「実務科目②」の一部を前倒して受講し、「司法試験選択科目」を最終学年で受講するなど、自分に合った履修形態を選べます。